

2018年3月26日

報道関係各位

AI プロダクト品質保証コンソーシアム

「AI プロダクト品質保証コンソーシアム」の設立について

AI プロダクトが生活に高度に融合した快適で安心な共生社会の実現に貢献

このたび、AI プロダクトの品質保証に関する調査・体系化、適用支援・応用、研究開発を推進するとともに、AI プロダクトの品質に対する適切な理解を啓発する活動を行う「AI プロダクト品質保証コンソーシアム」を産学27の発起人・団体に設立し活動を開始します。

本コンソーシアムによって、AI 技術の活用・進化のさらなる促進と、AI プロダクトが生活に高度に融合した快適で安心な共生社会の実現に貢献いたします。

1. コンソーシアム設立の背景

機械学習をはじめとする AI 技術は進化しながら普及の一途を辿り、様々な産業の競争力の源泉となるだけでなく、既存の産業構造を破壊・変革し、新たな産業を創出しています。それに伴い、AI 技術を用いた製品やサービス (AI プロダクト) が生活や社会、経済に及ぼす影響も大きくなってきています。しかし、従来型のハードウェアやソフトウェア、サービスなどに比べ、品質の把握、評価、説明、管理など品質保証技術の確立が進んでいません。特に、機械学習ではデータの学習によりふるまいが帰納的に決定されるため、「従来型のソフトウェアに対する品質保証手段が利用困難」「開発プロセスの管理による品質保証が困難」といった特質があります。一方で、AI 技術の進歩が社会に大きな価値をもたらすことが期待されています。AI 技術が安心して活用され進化できるようにするため、従来の発想にとらわれない、ブレークスルーが求められています。

このため、AI プロダクトに対する品質保証技術の調査・体系化、適用支援・応用、研究開発とともに、AI プロダクトの品質に対して、技術的特質を踏まえた適切な理解を社会が持ちうる啓発活動を行うため、様々な技術と知恵を結集できるコンソーシアムを設立します。

2. コンソーシアムの概要

名称： AI プロダクト品質保証コンソーシアム

英名： Consortium of Quality Assurance for Artificial-Intelligence-based products and services

略称： QA4AI コンソーシアム

設立日：2018年4月1日

目的： AI 技術の活用・進化のさらなる促進と、AI プロダクトと社会との安心できる
共生の実現

設立発起人・団体：

青木 利晃（北陸先端科学技術大学院大学）

石川 冬樹（国立情報学研究所）

猪又 憲治（三菱電機株式会社）

今井 健男（LeapMind 株式会社）

梅津 良昭（株式会社リコー）

遠藤 征樹（株式会社日立産業制御ソリューションズ）

小川 秀人（株式会社日立製作所）

荻野 恒太郎（楽天株式会社）

長田 健一（日立オートモティブシステムズ株式会社）

柏 良輔（横河電機株式会社）

岸 知二（早稲田大学）

窪田 邦夫（カルソニックカンセイ株式会社）

黒田 園子（パナソニック株式会社）

榊原 彰（日本マイクロソフト株式会社）

鈴木 万治（DENSO International America Inc.）

土屋 知典（富士通株式会社）

西 康晴（電気通信大学）

濱田 晃一（株式会社ディー・エヌ・エー）

誉田 直美（日本電気株式会社）

増田 聡（日本アイ・ビー・エム株式会社）

町田 欣史（株式会社エヌ・ティ・ティ・データ）

松谷 峰生（LINE 株式会社）

光本 直樹（株式会社デンソー）

鷺崎 弘宜（早稲田大学）

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 研究開発部門 第三研究ユニット

特定非営利活動法人 ソフトウェアテスト技術振興協会

一般財団法人 日本科学技術連盟

（以上五十音順）

3.主な活動内容

- 1) AI プロダクトの品質保証技術の調査・体系化
- 2) AI プロダクトの品質保証技術の適用支援・応用例の収集
- 3) AI プロダクトの品質保証技術の研究開発の促進
- 4) AI プロダクトの品質保証レベルの策定と、各レベルに必要とされる技術の対応付け
- 5) AI プロダクトの開発・提供組織による 4)の自己宣言の方法の策定
- 6) 社会への 4)、5)の提示と啓発

【コンソーシアム体制について】

設立発起人・団体からの選任により運営委員会を構成し、運営・推進に必要な施策を推進していく予定です。

【AI プロダクト品質保証コンソーシアム ホームページについて】

<http://qa4ai.jp/>

以上

■照会先・報道機関お問い合わせ先

国立大学法人電気通信大学

大学院情報理工学研究科 情報学専攻 経営・社会情報学プログラム

西 康晴 研究室

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1 西 5 号館 701 室

Tel/Fax: 042-443-5252 E-mail: qa4ai-steer@qualab.jp